

8 行政が取り組むもの

- 町は「白老町自治基本条例」に定める役割に基づき、「しあわせを感じるまち」の実現に向けて各種取り組みを実施します。
- 地域コミュニティの現状や課題を適切に把握し、地域コミュニティの自主性や自律性を尊重します。
- 様々な部署が連携し、社会情勢なども踏まえた適切で望まれる施策等の展開について、地域コミュニティの負担が増えないよう考慮しながら、最大限に努めるものとします。

(1) 地域コミュニティに対する支援

- 地域コミュニティの役割は、人口減少・少子高齢化が進行する中であって、その重要性が増していくものと捉えています。
- 特に、地域づくりの根幹をなす町内会は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け重要な役割を担うことから、活動基盤の強化がますます必要になっていきます。
- 地域コミュニティが行う多様な主体が参画する地域づくりなどの活動に対し、必要な支援を行います。
- 担い手やリーダー育成など「ひとづくり」に係る研修機会を充実します。
- 組織運営に係るアドバイスなど、活動を持続的に行う事ができるように、様々な支援を行います。

(2) 情報共有、公開の充実

- 行政が地域とともに「まちづくり」を進めるためには、地域における課題や現状の把握とともに、行政が持つ各種計画や地域に関連する様々な情報の積極的な発信による「情報共有」がスタートラインになります。
- 地域の課題やニーズを的確に把握できるように、地域住民との対話などにより、地域情報の収集を積極的に進めます。
- 様々な情報を、個人情報保護にも配慮しながら、住民、そして地域コミュニティと共有することにより、開かれた町政運営や協働のまちづくりを推進します。
- 保有する情報をわかりやすく提供・公開するよう、効果的で積極的な情報発信を行います。

(3) 中間支援組織機能の充実に向けた支援

- 町内会や町民活動団体などを支援する「白老町町民まちづくり活動センター」は、協働のまちづくりの拠点であり、情報の集約や発信、相談対応や学習機会の創出、課題解決のための様々なコーディネート機能など「地域コミュニティの拠り所」として重要な役割を担っています。
- 協働のまちづくりの拠点である「白老町町民まちづくり活動センター」に対し、各種団体間の仲介、様々なコーディネートなど中間支援組織としての機能充実に向け、財政的な支援や、地域支援員などとの連携を含めた人的支援などを行います。

(4) 職員理解と参加の促進

- 地域コミュニティが自主的、自律的に活動を続けるためには、様々な課題・問題に対し、行政が柔軟かつ適切に対応し、庁内全体で支援を行う必要があります。
- 職員は、白老町自治基本条例のほか、本指針についても十分に理解を深めた上で、部署間での連携や、地域コミュニティとの協働などを意識し、地域課題が解決されるよう努める必要があります。
- 自治基本条例第24条に定める「職員の責務」に従い、職員は町民との信頼関係を深めるよう心掛け、日々の職務遂行に当たります。
- 職員は、本指針に関する理解を深め、地域課題に対応する施策の立案など地域が求め望むことへの的確に対応できるよう、「地域の声」の傾聴に努めます。
- 職員は自ら居住する地域の活動などに積極的に参加し、見聞を広め、活動の実践並びに地域課題の実感を得て、職場においてもその経験を生かし、地域に寄り添い、地域を支える姿勢で職務遂行に努めます。

